



多摩北部医療センター

〒189-8511

東京都東村山市青葉町一丁目7番地1号

電話 042-396-3811

病院の概要

当院は東村山市にあり地域の急性期病院として、北多摩北部医療圏（西東京市、東村山市、清瀬市、東久留米市、小平市）約74万人の医療を支えています。

内科系・外科系ともに各領域の専門医のもとにあらゆる疾患に対応できる総合診療基盤を有しています。また、横断的なカンファレンス、抄読会、院外有名講師によるレクチャーなどを定期的に開催しており、教育体制も充実しています。なかでも、救急医療（年間救急患者約11,200人、救急車約4,200台）、がん医療（東京都がん診療連携協力病院（大腸がん・前立腺がん）に認定）を重点医療とし、さらに小児医療（年間救急患者5,200人、救急車1,100台）にも力を入れており、新生児から超高齢者までオールラウンドな診療を展開しています。

■ 診療科目

総合診療科 内分泌・代謝内科 循環器内科 腎臓内科 呼吸器内科 消化器内科 神経内科 血液内科
リウマチ膠原病科 小児科 外科 消化器外科 脳神経外科 整形外科 皮膚科 麻酔科 泌尿器科
産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 精神科 歯科口腔外科 リハビリテーション科 放射線科 病理診断科

■ 基幹施設となる診療科（括弧内は連携施設病院）

- ・内科（広尾/大久保/大塚/駒込/墨東/多摩総合/多摩南/神経/松沢/公立昭和病院/複十字病院/榊原記念病院/国立病院機構東京病院/日本医科大学付属病院/東京ベイ・浦安市川医療センター/杏林大学医学部付属病院/東京科学大学病院/東京大学医学部附属病院/東京都立健康長寿医療センター/古賀総合病院/東京女子医科大学病院/島しょ等）
- ・総合診療（広尾/駒込/多摩総合/多摩南/東京女子医科大学病院/奥多摩町国民健康保険奥多摩病院/社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会 常陸大宮済生会病院/医療法人社団実幸会 石橋クリニック/公立置賜総合病院）

■ 連携施設となる診療科（括弧内は東京医師アカデミーにおける基幹施設病院のみ掲載）

- ・内科（大塚/駒込/多摩総合/多摩南）
- ・外科（多摩総合）
- ・産婦人科（多摩総合）
- ・小児科（小児総合）
- ・麻酔科（広尾/大塚/駒込/荏原/墨東/多摩総合/東部）
- ・泌尿器科（駒込）
- ・病理科（多摩総合）
- ・救急科（多摩総合）



(研修風景)



(シニアカンファレンスの様子)

臨床研修委員会委員長からのひとこと



腎臓内科部長
小林 克樹

これから専攻医になろうとしている先生方は専門研修期間をどのように考えているのでしょうか？初期研修の2年間と後期研修の3年間（領域によっては4年間）を合わせた5年間は、医師としての基本的な考え方(アイデンティティと呼んでも良いかもしれません)を形作る時期であり、その分、その後の医師人生に決定的な影響を及ぼす時期でもあります。では単に数多くの患者さんを診て、ただ忙しければいいのでしょうか？それでは患者さんを「捌く」技能は身についても、患者さん一人一人と向き合っ、患者さん自身だけでなく、周りの家族や地域との関りにまで思いを巡らすことはできないでしょう。しかし一方で、暇ならいいというわけでもありません。自立した医師になるためには、やはり時にはギリギリの経験も必要です。その点、当院はちょうどバランスが取れていると思います。適切な症例には事欠きませんし、時には「あ～～～あ、もう大変！」と声をあげたくなる時もあるかも知れません。しかし、先生達を孤立させることは絶対にしません。先生達の後ろには必ず見守ってくれている指導医がいます。恐れずに研修に邁進して下さい。そして専門研修が終わった時に、一皮むけて見違えるほど逞しくなった自分と出会えるでしょう。まずは一緒に始めてみませんか？

シニアレジデントからのひとこと

私は他院の大学病院で初期研修を行い、専攻医として当院での研修を選択しました。私は腎臓内科志望であり、市中病院としてはさまざまな手技を経験できる点に魅力を感じました。当院は、人口約74万人を有する北多摩北部地域の地域医療支援病院であり、地域医療の中核を担う病院です。都心へのアクセスも容易であり、学会や勉強会等の参加に便利な立地です。病院全体で340床程度ですが、循環器や消化器、腎臓、神経、内分泌、血液、膠原病といった、呼吸器内科以外の内科は揃っています。呼吸器内科については、近隣の複十字病院や東京病院などで研修が可能であり、症例に困ることはありません。研修については各内科領域をローテーションするか、希望のサブスペシャリティ科に専念したローテーションにするか、自身の状況に合わせて柔軟に組むことが可能です。総合診療科外来を週1回1コマ、救急外来を週1回1コマ担当することになり、主体的に外来や救急業務に関わることができます。その他、日当直および平日の遅れ番を合わせて月4回程度あります。当院は2次救急病院ですが、多摩総合医療センターの救命救急センターでの研修が3ヶ月間組み込まれており、3次救急の経験も積むことができます。若手医師は東京医師アカデミー出身や大学医局派遣とさまざまであり、後期研修終了後は、当院に常勤として残ったり、他病院への就職、大学医局への入局とさまざまな選択肢をとることが可能です。当院での研修に興味を持たれた方は、一度ぜひ見学にいらしてください。お待ちしております。

内科 2年次 小川 慶太郎